

「企業理念」われわれは人類社会向上のベースたる働きをするものである。



てんひこ

発行所 株式会社天彦産業 大阪市住之江区南港南5丁目5番26号 TEL. (06) 613-2361 (代)
編集発行責任者 T.H. グループ (大橋 村上 宮脇 中井 阿部 寺田)

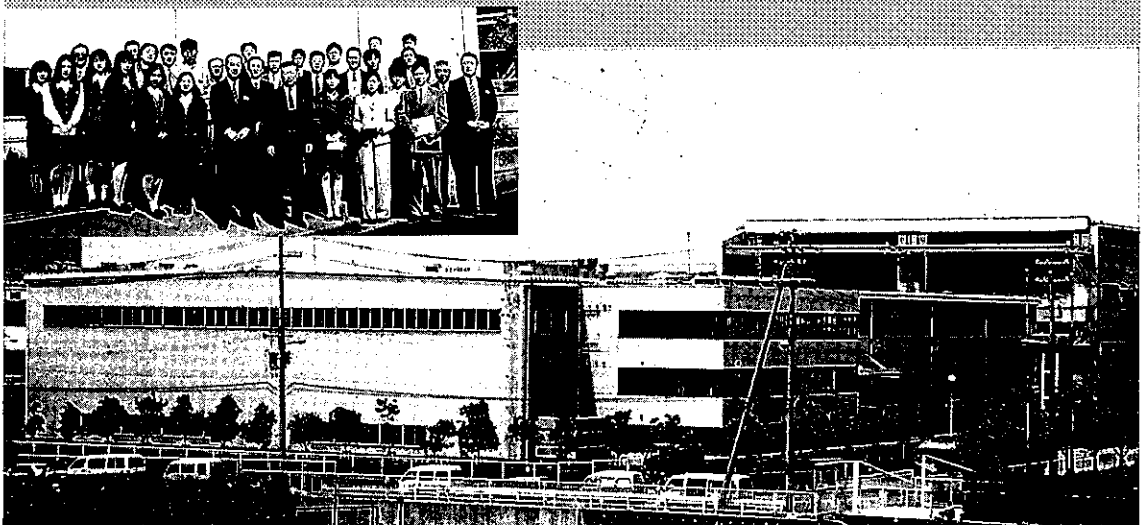
平成9年度『キーワード』

“ターゲット123 (1998)”

〈 自らの責任を自覚し、
決まったことは必ずやり遂げる 〉

『重点活動』

- ◎ 企業理念の徹底
- ◎ 情報活動による営業力強化
- ◎ 報・連・相の習慣化



平成9年度

営業方針！

〈営業部〉

専務取締役 樋口友夫

見通しづらい今年度であるが需要については、樂觀視している。たゞ川上と川下のバランスが崩れている(例・鉄鋼メーカーとカーメーカー)ので、その是正の動きが出てくることが予想される。その間に入っている我々流通にとって難しい局面が多々あるだろう。その一つ一つを乗り越えなければならぬ。しかしながら、この時期程、流通格差がつく時はないだろう。そんな意味で今期の営業部は次の五つを基本理念として、ターゲット123、二年目の成功に結びつけたい。

- 一、計画数字は自分一人の力に終わらず、周囲のあらゆる力を活用し、責任をもつてやり遂げる。
- 一、クレームは売った時よりも一層気持ちよく接する。
- 一、お取引先には誠意と情熱

をもつ、そして正当な要求は遠慮なく言う。

- 一、新規開拓を優先した行動スケジュールをたてる。
- 一、原価の考え方を正しく持ち、本物の利益を稼ぐ。
- DIPSの充実をより一層させ、各々のレベルを大きくアップさせなければならない。
- 特に本当のサービスとは何かを追求し、浸透させなければならぬ。

「商品のミスはサービスでカバーできるが、サービスのミスはカバーできない。」

幸いに体制も整いつつあるし、各営業マンの能力も昨年度に比べかなり伸びつつある。個々の役割についても各人が認識してくれています。計画達成レース新規獲得レース等のインセンティブを励みにして自らを鼓舞し戦って欲しい。

元来、樂觀論者である私ですが、今期については本当の意味

で部員を信頼できるし、目標達成できると信じています。

〈管理部〉

常務取締役 宮田荘一

- 一、情報の管理から活用パソコンによる社内通信網(イントラネット)を通じ報連・相がスムーズに出来、数字以外の情報も入力することによって、あらゆる情報の共有化を計り、これらを最大限活用して営業活動を円滑にして業績の向上に寄与したいと考えている。

昨年の十月からの導入で社内ではほぼ全員がパソコンに慣れ親しんでおり、コンピュータの情報の活用は非常に早いスピードで実現出来ると確信している。あとは情報の共有化に伴うセキュリティを確保することが重要である。

- 一、コストのチェックと資産運用

最近の円の不安定な原因は日本の超低金利だとすれば早晩金利の上昇が考えられる。景気が

今一つ盛り上らないのは営業外費用の圧縮による経常利益の向上だから実感はわからないのである。この現状を真に理解して、生産性の向上による経費の圧縮と、資産(売掛金、在庫商品等)の流動性を高め、体質を強化しておかなければならない。種々の規制緩和で競争が激化すればやはり健全体質の会社しか生き残れない。正確な原価計算、違算の処理、不良在庫の排除、不良資産を発生させない事に専念したい。

一、自己完結型の仕事

仕事の生産性を高めるとは単位時間における仕事の量をふやすこと、すなわちスピードを上げてしかも正確であることである。正確な入力、正確なデータの迅速な提供、正確な照合、各人がそれぞれの仕事について自分一人で完成させ、結果については全責任を持つ心掛で真剣に取り組んで行きたい。



総務年間主要事項

総務部

取締役 岩崎哲夫

ターゲット123に向けて中

間の年、各部門、各社員が常に123に掲げられた諸項を認識し、具体的に型作りをなし、目的完遂への全面的バックアップを計る年とする

(1) 総務関係

○平成9年度の年間カレンダーの決定

○組織を活かす社内諸規定の見直しと新規定の充実

(2) 労務人事

○平成9年度、新卒3名入社

○平成10年度、新卒採用計画
合同業界セミナー(毎日コミュニケーションフェスタ)

への参加

○毎日就職情報誌掲載インターネットフェスタの活用

○会社説明会の開催

(3) 教育研修

○中小企業診断士指導によるDIPS研修(具体的な個人テーマの実現を計る)

○全特協、特殊鋼販売技士資格

○新入社員、禅寺道場研修

○中堅社員研修

○社外派遣による各部門に要する技能講座への参加

(4) 設備

○4トラックの入替

○コストダウン、生産性向上に向けて加工工程自動化の考案

(5) メンテナンス

○クレীন7基の法定定期点検の実施

○シャーリング、鋸盤メンテナンスと補修

(6) 制度活用

○能力開発助成給付金

○基盤人材確保法に基づく基盤人材助成金

(7) 福利厚生

○半日ドック、検診の実施

○一般集団検診

○社員研修旅行(10月予定)

(8) 安全衛生

○労務災害、通勤災害の防止と安全対策

(9) 委員会、プロジェクト

○活性化と成果へのサポート

○必要プロジェクトの新設

策

○社史、会社案内、名刺デザイン、123企画

貿易部方針

リーダー 山川隆男

今年度は貿易部にとっても飛躍の年である。創業一三三年に向けて新しい営業力をつけなければならない。女性の貿易営業マンの起用や中国の留学生の採用と何かとやる土壌はそろってきた。これに素材から完成品の提供を通じ、社会の高品質、高生産性、商品開発に寄与するという我社の企業理念を常に心掛けることにより他社に負けないチーム作りが出来ると確信する。報・連・相の習慣化と国内営業との情報交換を定期的に実行して新規商品の開発と得意先の開拓をしていかなければならない。

C・Sセンター方針

リーダー 中居光世

今年度は、C・Sセンターの活動方針として、『御客様の要求を満たすと共に、C・Sセンターの健全な運営に全力を尽くす。』ということを掲げました。そして昨年度の反省を元に、4つの具体的活動につながる訳ですが、それぞれ4項目は、相互に関連性を持ちどれを取っても軽視できるものではありません。要点だけ申しますと、短納期・精度UPの為、作業内容・時間を調査し、計画性を備えた生産体制をつくり上げる。又その作業への集中時間確保の為に、最低限必要なルールづくりに着手し整備を計っていきます。そ



して、かかる正当と思われる費用については正しく原価に反映していただくことも忘れてはなりません。

メンバー個人向けとして、「成長目標」が自分達のレベルUPに直結していることを理解し、四半期ごとの期限には、一人の未達成者も認めないという姿勢も維持したいと思います。

我々には課せられた命題があります。「短納期・精度UP・サービス拡充、そしてコスト削減」をいつも念頭に、今後一年、厳しさを感じながら、責任を自覚し、やり遂げることを改めて誓います。

新入社員紹介

早く覚えて下さい！



- ①名前 吳 偉強
- ②生年月日 昭和40年8月27日
- ③血液型 A型
- ④出身地 中国広州
- ⑤趣味 読書、中国象棋
- ⑥性格 せっかち
- ⑦この会社に入って、将来の夢 中国、東南アジアに進出し、

貿易量を拡大したいと思っています。

日本に来てはや6年、今年3月には結婚をし、増々充実！今後の活躍を期待しています。



- ①名前 中垣 里沙
- ②生年月日 昭和50年3月19日
- ③血液型 O型
- ④出身地 大阪府
- ⑤趣味 デザイン、読書、スポーツ観戦、紅茶をいれる事等。
- ⑥性格 楽天的というか脳天気。負けず嫌いな一面もある。実は、笑いじょうこで涙もろい。
- ⑦この会社に入って、将来の夢 今、仕事を確実に素早くこなす事、新しい仕事をたくさん覚える事が目標です。現在管理部に所属していますが、他の部課の知識も幅広く持ち、天彦の々要的存在になりたいと厚かましくも考えております。



- ①名前 中林 愛
 - ②生年月日 昭和48年6月11日
 - ③血液型 O型
 - ④出身地 三重県
 - ⑤趣味 映画鑑賞・音楽鑑賞
 - ⑥性格 どちらかといえば物事を楽観的に考えるほうです。
 - ⑦この会社に入って、将来の夢 天彦産業に入社して、早くも一カ月半が過ぎましたが、教わる仕事も日に日に増え、緊張の連続です。
- 今の目標は限られた時間を上手に使って仕事をこなすことですが、将来の夢としては、早く仕事を身につけて、社会に役立つ人間になることです。
- この時期は基本をガッチリ堅めておきたいと思っておりますので、よろしく御指導下さい。



私とボランティア

営業業務グループ

高橋珠簍

学生時代を振り返ると、運営委員会、水泳部、アルバイトなど充実していました。それでも、学校以外でボランティア活動をしたと思います、大阪ボランティア協会を訪れました。私には四国の療護施設で暮しているおじがいます。遠く離れているため、身近な所で障害者の方と接したい。私がボランティア活動するきっかけでした。ボランティア協会にて、自宅近所のお風呂介護のボランティアを御紹介いただきました。月に一度、介護者二人で岸田さんとお風呂に入ります。ボランティアを始めた時は、上手に介護できるか不安と緊張の連続でした。少しずつ慣れてくると、介護する手と心が機械的にならない様につけました。毎回介護者二人で入れるため、他の介護者との交流も私にとっては新鮮でした。年上の方

は、人生経験も豊富で、女性や母親としての立場から、いろいろお話しを聞く機会もありました。私にとって先輩方の体験は興味深く、勉強になりました。

今年でお風呂介護も五年目に入ります。初めは、岸田さんと私の関係に「障害者と健常者」という壁がありました。今は、



「一人の人間と人間」の関係になった気がします。私にとっては年上の友人の様な感じです。昨年からは、岸田さんは「グループホームほんわか」障害者の三人暮らしを始められました。障害者の人が、より良く自分らしい自立した生活を過す事が目標です。施設で暮していれば、自分

の生活リズムはありません。何かをするにも、自分で決めるといふ機会さえ難しいのです。岸田さんは職員スタッフや介護者との協力で、施設に入居されている障害者の外出を増やしたり、宿泊合宿などのイベントを企画したりしています。また、岸田さんは本を書かれたり、カウンセラーの勉強をされたり、意欲的で活発な活動も続けておられます。こういった岸田さんの生きる姿勢は私にとって前向きでエネルギーを感じます。そして、障害の「害」という字は、一般的に公害や害虫といった悪いイメージを受けがちです。果たして障害は欠陥なのでしょうか。障害は個性なのだと思います。

私サマーボランティアで知的障害児施設に行った時の事です。主に2才〜4才児の自閉症の子供達と出会う機会があり、毎日が驚きの連続でした。全く普通の子供達と同様に泣いたり笑ったり自分の感情をぶつける。保護者のお母さん方は、我子に障害があるうとなかろうと子供



に対する愛情は同じで、かわいくてたまらない様子でした。人は生まれながらにして、五体満足に生まれる時もあります。またそうでない時もあります。どの様に生まれてきたとしても、人はあるがままの姿で、人として存在し、精一杯生きていく事に価値があると私は思います。

時々、人は五体満足に生まれた事を当然の事に思いがちです。趣味のトライアスロンを通じて、障害者センターの水泳教室に参加した時のことです。目と手の不自由な男性のインストラクターとして、指導しながら貴重な体験をしました。その男性の目標が25mクロールで泳

ぐ事だったのです。何度も練習しながら、ようやくできた時の喜びは私も共感できました。また盲目ランナーで、大阪国際女子マラソンに向けて練習してい



る年配の友人もいます。走りたくても伴走者がいなければ走れない。決められた練習時間の中で精一杯がんばっている彼女の姿を見て、自分は一体何なのか。自問自答を続けています。今の私の目標は、自分自身のトレーニングに励むこと。そして、盲目ランナーの伴走者になって、走る喜びを共感することです。

「人事異動」

営業部リーダー

杉原 信良



営業部主任

山野 朋和



CSセンター主任

佐藤 浩一



ご存じですか？

この商品！

我社、新商材開発の一貫とし

て、この園芸用具セット（GT K-007）が作られました。家庭菜園などに必要な用具が12点入っており、なかなかの優れものです。

これからの季節、ぜひいかがでしょうか。（お問い合わせは天彦産業まで）



編集後記

平成九年度第一号を発行することができました。

今年度は、ターゲット123を成し遂げる為にも重要な一年になると思います。我々T.Hグループと致しましても、社内の意識付けとともに、社外の皆様に対しても、理解して頂ける様、内容等、考えて参ります。何卒、よろしくお願い致します。



T.H. グループ